

岡田 康平 農学部 食料生命環境学科 1年

・派遣先大学、派遣期間

ベトナム国家農業大学（平成28年3月7日～平成28年3月23日）

・日本語教室での指導内容

主に現地の学生が使用している教科書の質問に答え、単語や簡単な会話、ホワイトボードを使い漢字などを教えました。外国人には漢字はとても難しいらしく書き順や形、バランスなどが滅茶苦茶でした。教科書に載っている文法は普段日本人があまり意識しないレベルの用法もあり教えるのにとっても苦労しました。また、プログラムに参加していた学生の中に花笠踊りが出来る人がいたので、それを生徒と一緒に学びました。生徒の中にはベトナム語での自己紹介を教えてくれた人もいました。しかし、発音がとても難しく、私は下手だったのか終始笑われていました。

・日本語教室以外での現地での交流活動

授業のなかった土曜日、日曜日を利用してぶんちょう（ベトナム最古の大学跡）、セントジョセフ教会、バチャン、ベトナム人の家に行きました。ベトナム人の家は日本と比べてとても大きかったです。しかし、蚊がたくさんいたのでひどい目に遭いました。そこで芋煮とカレーが振る舞われましたが、ベトナム人には残念ながら不評でした。また、ハノイの街を歩いているとたまにベトナム人に日本語で話しかけられることがありました。このことから日本への関心の高さや、ベトナム人のとてもフレンドリーな一面を感じる事が出来ました。

・プログラムに参加した感想

今回のプログラムに参加して文化の違いに驚きました。特に交通と食文化と人が印象的でした。ベトナムの交通量はとても多く、町中にバイクが走っていました。日本と違い歩行者が優先というわけではなく、タイミングを見て道路を渡るのが当たり前でした。また、バイクも日本ではあり得ない3人乗りや、4人乗りなどを見かけることがあり、とても自由な国だなという印象を受けました。次にベトナムの食文化です。ベトナムには虫や犬など日本ではまず食べない独特の食材があり、とても不思議な味がしました。さらに、大半の料理にパクチーが入っていたためとても苦戦しました。また、ベトナム人は日本で人気のお菓子「柿の種」を不味いと言っていたので日本人との味覚の違いを感じました。最後にベトナム人の人柄が印象的でした。ベトナム人は陽気でフレンドリー、時間にルーズでとても自由な人が多い印象を受けました。しかし、日本語の勉強に取り組む姿勢は真剣で生徒から日本についてもっと知りたいというやる気を感じ、日本人として誇らしく感じました。

・自分の目標の達成度や努力した経緯

今回のプログラムでの自分の目標は日本語を教えることを通して日本の文化の素晴らしさを再確認することと英語でのコミュニケーション力の向上が目標でした。授業ではベトナム語しか分からない生徒を持つことが多かったので身振り手振りや教室にもWi-Fiがあったのでインターネットなどを使用して分かりやすい授業にするように取り組みました。そこで、日本語で色について教えていたとき、日本では青色、水色、紺色などと区別して色を捉えるが、ベトナムで濃い青色、薄い青色と表現すると聞き、日本人の色彩感覚と言葉の表現力の高さを感じる事が出来ました。もう一つの英語力の向上は、参加してくれた生徒に英語が出来る人が少なく、また英語が話せ、日本語が少しできる生徒にはなるべく日本語を話したほうが良いと思ったので、あまり英語は使用できなかったのが残念です。

・今後の展望

このプログラムに参加し、自分が外国人になったことで初めて気づいた事があります。大学構内を歩いていると他のベトナム人にじろじろ見られ、韓国人に間違えられることが多々あり、あまりいい気分ではありませんでした。しかし、日本に帰国した後、自分自身も街を歩く外国人をじろじろ見て、勝手にアメリカ人またはヨーロッパ人であろうと勝手に判断していることに気付きました。外国では当然のように英語が通じると思っていましたが、少し郊外に出てしまうと通じませんでした。この様な先入観は他国の文化、習慣を理解するうえで邪魔なものであり、不快感を与えかねないと思いました。私は将来海外で働いてみたいと思っているので、初対面の外国人に会った時に自分はどうするべきかなどを考えるいい機会になったと思います。疑問に思ったことはベトナムで約2週間生活していたが日本とあまり変わらず生活できたので社会主義というものがどういうものかがあまり分かりませんでした。ベトナム語が分からなかったので政治や軍事的なことに関しては仕方ないが人やお店を見ている限りでは日本と変わらないように感じました。私が感じたベトナムの文化は社会主義が影響したことでできた文化なのか、それとも元々そのような文化だったのかが曖昧だったので自分で少し調べてみて、今年の夏に機会があればもう一度ベトナムに行き、現地の人に尋ねてみたいと思いました。

